

# 電子リソースの活用とリモートサービス OpenAthens の提案

近年、電子書籍やオンラインデータベースなどインターネットを経由して提供される情報資源を導入し利用者に提供する図書館が増えました。しかし、これらのリモート情報資源は、利用や管理の技術等がそれぞれ異なっており、さまざまなコンテンツを横断して活用したい利用者にとって使いやすいものにはなっていません。

今後、これらを一体の図書館サービスとして利用者に提供できるか、同時に、これらのサービス状況を的確にモニターしサービス改善につなげていけるかが、ネットワーク時代の図書館の基本課題となります。

今回は、日本でこのシステムを販売している EBSCO Information Service Japan (株) と未来の図書館研究所の共同主催で、英国の JISC が開発提供している OpenAthens のケースを一つの解決策として取り上げます。

## JISC (Joint Information Systems Committee) とは

英国政府閣内大臣の勧告により 1993 年に設置された、高等教育及び研究機関のデジタル情報活用支援のための非営利組織。英国の高等教育助成機関等が資金サポートし、デジタルリソース活用支援やそのための技術開発を行っている。

## OpenAthens とは

英国 JISC が開発した複数のコンテンツ・プロバイダーの間のシングルサインオン技法、および経営上の利用統計情報把握のシステム。英国のみならず世界各地の教育・研究機関で利用されている。  
<https://www.ebsco.com/ja-jp/products/ebsco-openathens>

日時

**12月8日(木) 14:00-16:00**  
Zoomによりオンラインで行います。

講師

問題提起 未来の図書館研究所 所長 永田治樹

講演 How OpenAthens can help future proof your library during Covid-19 and beyond?

**クリストス・スコータス氏 (通訳付)**

BA (Economics)、MA (publishing) を取得後、出版社やアメリカ科学振興協会 (AAAS) を経て、現在、JISC で OpenAthens 担当 Senior International Business Development Manager (上級国際ビジネス開発マネジャー)

申込

下の申込フォームからお申し込みください。受付後、会議参加用 URL をお送りします。(主催者の HP からでも申込み可。)



参加費は無料です。

主催



未来の図書館 研究所 +  
The libraries of the future research, inc.

EBSCO  
Information Services

お問合せ

(株) 未来の図書館研究所 e-mail: info@miraitosyokan.jp 電話: 03-6673-7287  
EBSCO (株) e-mail: jp-ebscohost@ebsco.com 電話 03-4540-7169

申込フォーム  
はこちら

申し込み受付は  
EBSCO (株) 社が担当  
し、同社の Web フォー  
ムにより行います。

